

研究から

しているものの中に成分として知られるアントシアニン、ターメリックの黄色色素であります。最近では古くから食用に用いられ健康食品としてもよく利用

す、どの物質がどのようになっていくのかまだ十分に解明されていません。私達の研究室では、独自の分離精製技術を確立する」とが生理活性発現の仕組みの理解につながると考えています。これらの身近な食品や植物などから分離精製して得られた物質のさまざまな試験を行い、それに伴う化学構造の変化やメカニズムについて解説する」とD、より良い機能性成分の発見や医薬品の開発に貢献でなければなりません。

機能を化学反応から解明へ

てきた食品の中に、抗菌、抗がん、抗アレルギー性などの作用が見いだされ注目されるようになりました。



るまた薬理活性を持つものが数多くあり、医療としている、緑茶中のカテキンやブルーベリーのその植物の中から有機化合物の中にはさまざまな薬理活性を持つ

や植物などが、機能性物質の探索や大量に取り出す方法を開発しています。皆さんが生活の中で無意識に行っている生きています。しかし、これらの成分は、それ命活動、すなわちモノを食べる、モノを見る

自然がつくり出る有